

2021(令和3)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

若年性認知症カフェ

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2021年12月18日(土) 1回目：13時～14時 2回目：15時～16時 定員各6名
【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム

各回：交流会（近況報告）

3. 参加者数 1回目7人（内訳：当事者1名、家族5名、専門職1名）
フンドウー代表：1名スタッフ配置

4. 当日の様子

変わらず…コロナ禍が継続中ですが、感染対策に留意してカフェ開催致しました。

今回ご本人1名と、ご家族の方1名（世帯別）が初めて参加されました。夫の苛々感にどう対応しているのかわからない…というご家族の相談に、他の家族から「一緒になって苛々していたら勿体ないよ。」等、対応の仕方について家族同士でお話しされていました。

今月初めに開催した一般講演会の話題も振り返りお話ししていました。若年性認知症の本人のお話を聞く機会はあまりないので、これからも開催して欲しいという意見が聞かれました。楽しすぎて、時間はあっという間に過ぎました。今回は13時枠だけの予約となり、2回目開催はせず、予定時間を超過して終了と致しました。

5. 所感

今月も馴染みの方と初めての参加者もいらっしゃいました。コロナ禍のため少人数で二回開催としている中、どの人がどの間に参加されるか？開催日の予約状況でしか対応できず…人と人のマッチングも上手くいかない事もあります。本人は本人同士・家族は家族同士という会も必要ではないかと感じています。



以上